

平成17年3月13日  
**金沢区文化協会設立10周年記念**  
主催 金沢区文化協会



助川会長挨拶

金沢区文化協会会報

し  
お  
さ  
い

# 金沢区文化協会設立10周年記念

金沢区文化協会

編集人 岩瀬 昭二

☎ 701-0795

発行人 星 翠 雲

☎ 781-2624

印刷 幸栄印刷(株)

☎ 716-3366



金沢区長祝辞

平成17年3月13日(日)金沢区文化協会設立10周年記念式典の日です。  
 3月も半ばとなったのに、非常に寒く雪もちらつきました。  
 12時開場の予定でしたが、公会堂の前に大勢の方々が行列を作られたので早目の開場となりました。  
 12時半生方理事の司会で式典が始まり、助川会長の挨拶、橘川金沢区長の祝辞、横井金沢区町内会連合会長・小幡議員団代表から祝辞をいただき、アトラクションに入りました。  
 金沢八景の評判がすばらしいので江戸の絵師巨勢金岡が、あまりの風景の美しさに「私にはとても描けない」と筆を捨てたという筆捨松の故事を佐々木理事がお芝居にしたもの



横井連長祝辞

で、吟詠で進行、合間に三曲・日本舞踊・書道・コーラス・絵画・華道が披露され、会場の雰囲気盛り上げました。  
 助川会長の見る「夢」の中で、金沢区に文化ホールが完成し、そのお祝いのパーティーで、舞台の大きなくす玉が割れるシーンもありました。  
 締めくくりは金沢吹奏楽団の演奏です。若いメンバーが増え、圧倒的な迫力の演奏でした。金吹は金沢区にとって貴重な文化資産だと感じました。  
 お客様も四百人を超える方々に御来場をいただき盛会でした。  
 これからも文化協会は地域文化の担い手として頑張りたいと思います。

# 10周年記念大会



金沢吹奏楽団



合同コーラス

# 青少年育成事業

## (1) 塩田による塩づくり

中世の昔より金沢に伝わる伝統文化『塩田による塩づくり』を、区内の小・中学生に伝承すべく金沢区役所と共催で、平成14年より毎年夏休みに、海の公園砂浜で体験学習を実施してきました。生徒さんはもとより保護者・先生方・地元の方にも好評で、今後とも金沢の伝統行事として定着させたいと願っております。



塩田に海水撒き

## (2) 金沢区児童席書大会

日本の伝統文化の一つである書道を通して、児童生徒の健全育成を図ると共に、書道文化の継承と普及向上を目的として、区内小中高生を対象に毎年金沢地区センター体育館に多勢の児童を集めて、課題の文章を書いてもらいます。金沢区書道協会、金沢区文化協会、金沢区役所の協力で平成12年から実施しております。

## (3) 金沢区小・中学校音楽祭

文化協会設立7周年記念行事として、平成13年に始めた小・中学校音楽祭も今年で5回目、年々盛んになり公会堂に沢山の人が集めております。区内小・中学校からの協力はもとより、文化協会各部の応援、並木男声合唱団等の団体会員の出演もあり、盛り上がりを見せております。

# 文化財保全事業

## (1) 伊藤博文公野島別荘

秋の催しとして午前中は清掃、午後には各部による箏曲・合唱・吟詠・舞踊・謡曲・呈茶が盛大に行われます。また例年金沢小学校からの参加があり、楠

山顧問による博文公に関する歴史講話も行われます。これには横浜オリオンライオンズクラブ・横浜金沢シテイガイド協会・金沢街づくりの会等のご協力が大きな力になっております。

## (2) 旧川合玉堂別邸及び園庭緑地

京浜急行・富岡駅より徒歩2分の丘陵地に、約2000坪の玉堂別邸(二松庵)があり、本年春に横浜市有となりました。平成14年より毎年『内覧会』を開催し、大変好評を得ております。

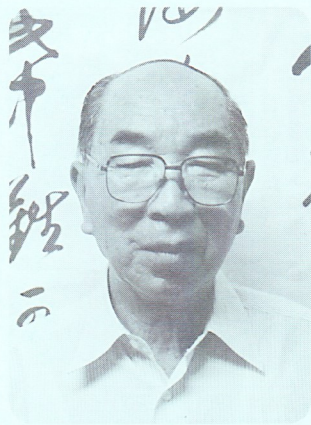
これからの活用については内覧会時のアンケートを参考にしながら、金沢区役所に『運営委員会』を組織して検討を進めることになりました。

皆さんのご意見ご提案とボランティアの参加をお待ちしております。



# 第六期定時総会開催

平成17年度第6期総会が5月29日(日)能見台地区センター大会議室にて開催されました。助川会長の挨拶のあと、金沢区役所鈴木副区長が区長代理として文化協会が区の文化の興隆、振興に対して多大な協力、また区の事業に対する支持への謝意と、10周年を新たな出発点として益々の発展を祈りますとのご挨拶を頂き、続いて議員団代表幹事の田中議員より文化ホール建設については超党派にて議員一同全力で取り組む旨の挨拶があり、さらに松本・佐藤両衆議院議員からも激励がありました。続いて助川会長を議長に



新会長 星 翠雲

ご挨拶  
新会長 星 翠雲

この度、皆様のご推挙を戴き、金沢区文化協会会長の席に就くことになりましたので一言ご挨拶申し上げます。前会長の助川さんは、学識・経験とも優れた活動家で誉れ高い方でありましたが、ご都合により、代わって私に後を継げと云うお言葉でありましたので、お引き受けいたしましたものの、今さら責任の重さを

選り議事に入り、平成16年度事業報告、決算、監査報告、平成17年度事業案と予算案、施行細則追加案、理事役員改選案共々全て原案通り可決承認されました。また、新任役員の紹介、新会長の挨拶と所信発言があり、総会は終了しました。休憩の後、懇親会に移り「今期の指針について」特に会員増強には協会の基盤を確立していくのに必要なこと、また文化ホールやギャラリー等の文化施設の引き続いての運動促進について活発に話し合いがありました。

## 【プロフィール】

- 読売書法展評議員 ■ 謙慎書道展理事
- 全日本書道連盟理事
- 現代臨書展審査委員 ■ 竹青社理事
- 燕京書道交流協会常任理事
- 横浜書道連盟副会長
- 神奈川書家クラブ会員 ■ 翠籟会会長
- 金沢区書道協会会長

身を以て実感いたしております。浅学、非才な未熟者ではありますが、避けて通れない道でもあり道と云う字は首を書いてその下に(一) シンニューを付けて、シンニューには走ると云う意味があります。つまり首をかけて行くことです。大変な修行を要しますが、草花にしても一粒の種がやがて立派な美しい花が咲き実を付けるのです。

20万区民の熱意と、努力により風光明媚な文化と歴史の街・金沢づくりにつめたいと思います。

金沢区文化協会設立10周年記念事業  
文化講演会主題

## 『鏑木清方と金沢八景』

副題…その人と作品〜武州金澤と大正期の画業〜



八柳サエ先生

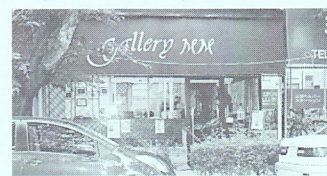
平成17年3月12日(土)の午後金沢地区センターに、横浜美術館学芸員・八柳サエ先生をお迎えして、文化講演

会を開催しました。前評判がよく会場一杯のお客様でした。不思議なご縁と申しましうか、お客様の中に清方が君が崎・遊心庵時代にお世話をしたという方のご

## 新賛助会員紹介

Gallery new  
art & coffee

西柴の桜  
並木の美しい坂道にあるギャラリーです。オープンして一年余り、内外の個性豊かな作家を紹介しています。最近では地元のアマチュアの方達にも利用しやすい価格(一週間三万円)で開放しており、個人やグループの展示に適した手頃なスペースです。また、定期的に催されるコンサート(クラシック、ジャズ、シャンソン等)と共に好評を博しております。どうか当ギャラリーを皆様の発表の場として活用頂ければ幸いです。



〒236-0017 金沢区西柴三ー一七ー八  
☎045-785-1988

子孫がいっしょにしゃいまして、母から聞いたという思い出話のご披露がありました。『清方は明治11年東京に生まれ、最初には挿絵画家として出発し成功を納めた。のち肉筆画制作だけで立つ志を固め明治42年、第3回文展に初入選している。大正9年に君が崎に別荘を求め、母屋のほかに高台の四阿(あずまや)を遊心庵と名付け、見晴らしを家族と共に楽しんだようである。この頃の作品が『遊心庵絵日記』となり、金沢での生活がよく現されている。』

清方は憧れの金沢に、昭和14年まで約20年間過ごした。八柳先生はプロジェクトを駆使してとても分かりやすくお話になり、文化協会10周年記念事業に花を添えて頂きました。ありがとうございました。

## 団体会員紹介

当会は、金沢地区センター自主事業のOB会として、2年前に発会しました。会員は、現在20名程。月2回(第2、第4土曜日)、さわやかなワイアン音楽に乗って、フラを楽しんでいます。指導者は(財)横浜市スポーツ振興事業団を退職し、生涯学習の一環として、フラの普及と交流に活躍された杉山弘子先生。フラを通して健康づくり、仲間づくりを楽しいライフラインに導入して、地域の発展に貢献することをモットーとしていっしょにしゃいまして。



金沢フラ愛好会

私達の初めての発表の場は、この8月27日の金沢まつり花火大会のステージです。2年間の成果をぜひ見せて戴きたいと思っております。基本的に忠実に、今はこの練習に余念がありません。皆さま、ご一緒にいかがですか。

杉原トシエ

# 文化協会行事予定

(日程順)

10月1日(土)	金沢地区センター	第7回 金沢区児童席書大会	(701)	2372
10月2日(日)	金沢地区センター	歴史講演会「赤ひげ先生(小川笙船)と金澤八景」	(781)	8665
10月2日(日)	金沢公会堂	文化祭参加 吟と舞の祭典	(783)	2284
10月15日(土)	金沢地区センター	文化祭参加	(783)	3962
10月10日(日)	児童アート教室	第10回 児童アート教室	(783)	3962
10月12日(水)	金沢地区センター	第17回 金沢区民文化祭「区民の作品展」	(701)	0795
10月12日(水)	伊藤公別荘	清掃ボランティアと秋の催し	(701)	2308
10月15日(土)	金沢地区センター	文化祭参加 華道展	(782)	1506
10月16日(日)	金沢公会堂	文化祭参加 (25周年記念)	(701)	9720
10月16日(日)	金沢地区センター	文化祭参加 秋季茶会	(774)	8904
10月30日(日)	金沢自然公園のほな館	第6回 金沢区民俳句(吟行)大会	(781)	5044
11月(以下)	金沢地区センター	以下奇数月の第一(火) おやこで楽しむおはなし会	(783)	3962
11月3日(木)	金沢公会堂	文化祭参加	(771)	4570
12月4日(日)	金沢公会堂	文化祭参加	(701)	9207
12月10日(土)	日本舞踊連盟公演	第10回金沢区日本舞踊連盟公演	(701)	9207
12月9日(金)・10日(土)	川合玉堂邸	第3回 内覧会	(701)	2308
12月11日(日)	金沢公会堂	文化祭参加	(788)	2691
18年2月	金沢地区センター	第11回「わたしたちの金沢」写真展	(784)	2467
18年3月	金沢地区センター	文化講演会「金沢区に生きて」	(781)	5044

(連絡先)

## 金沢の民話



### 民話絵本づくり

— 区役所に協力 —

むかし、泥亀の金沢区役所のあたりはそれはそれは美しい内海だったことを知っていますか？能見台の高台から見た、松並木の海岸線に囲まれてキラキラ輝く美しい海の様や称名寺の優しい鐘の音などは『金沢八景』の地名として今に残っています。また、現在も金沢に点在するお寺や風景を背景とした当時の人々の心、生活などにまつわる話が民話として沢山残っています。残念なことにそれらが現在、区民に語られる機会はほとんどありません。そこで今回、金沢区役所では、これらの民話を『民話絵本』にして、区内の小学校に配付することになりました。児童文化部もその一員として、製作に関わっています。自分達の住む金沢区の歴史を、民話絵本から楽しんで知ってもらう子供たちの笑顔を思いながら、製作に励んでおります。

氏家 総子

### 金沢区音楽のつどい 二十五周年を迎えて

平等 静枝

昭和56年7月5日の日曜日に、11団体が集まり、第1回の音楽の集いが行われました。待ちに待った公会堂が出来て10年目でした。身近で日曜日という願いがやっと報われ、その後、第5回は16団体、第10回は26団体と参加団体が増え続け、第20回には30団体までになりました。演奏内容も合唱だけでなく、お琴・吹奏楽などいろいろな団体の幅広い参加が得られるようになりました。10年目には個人参加の混声合唱団を結成、百五十名から二百名の合唱団を編成、20周年には二百三十数名でベートーヴェンの第九交響曲を合唱したのも思い出深いものです。横浜みなとみらいホールでのパイプオルガンとのドボルザークのミサ曲。毎回の合唱団の方々の輝いた美しい瞳は忘れられない出来ません。毎年の音楽のつどいは大勢の仲間達との楽しい一日となっております。



### 10周年記念「金沢区日本舞踊連盟公演」

文化協会設立10周年と同じ今年、満10歳を迎える金沢区日本舞踊連盟(会長 西川舞寿美)も来る12月4日(日)に第10回目の公演を開催させていただきます。皆さま暖かい御支援のもと、伝統芸能日本舞踊への熱い思いで流派を超えて結束し、毎年一回の公演を続けて今年で10年になります。この節目の公演に金沢区で活躍の琴アンサンブル金沢桐韻会の佐野史瑞子先生と御一門の皆さまに特別出演して頂きますことは誠に光栄に存じます。また先生の編曲された曲を若手舞踊家の日舞で表現するという企画もしております。そして、10年間一緒に活動して参りました役員による群舞、長唄「狸屋島」もお楽しみ頂けましたら幸いです。これはかちかち山のおとぎ話に源平屋島の合戦を当て込んだユーモラスなお話です。その他、地元舞踊家の盛り沢山の発表がございます。是非万障お繰り合わせの上、御来場賜りますよう、お待ちしております。



### 10周年記念会員募集

現在会員は団体46、個人125、賛助12、顧問16名の状況です。私も文化協会は区内の皆さまの文化活動の支援と、更には青少年事業や文化財保全事業を進め、「歴史と文化が薫る街づくり」を、そして「文化のまち金沢」に掲げ、健康で明るいふれあい社会づくりを目指して活動を続けています。またさらには、金沢区には文化ホールやギャラリーや博物館等の文化施設が残念ながらありません。引き続き10周年を期して新たに多くの団体や個人の方々にも入会して頂き、皆様と共に力を合わせて運動を進めていきたいと思います。

会費明細(年) 入会金なし  
個人会員 千円  
団体会員 五千円(25名以下)  
団体会員 七千円(25〜50名)  
団体会員 一万円(51名以上)  
賛助会員 一万円(一口)

尚会員の場合は申請により共催事業、後援事業として各々の事業に活動助成を行い、文化活動を支援しております。さらには非会員の場合も支援を行っていますので申し出下さい。

入会申込事務局 後藤 七〇一―二三〇八  
助成申込総務 白井 七七八一―八六六五



### 編集後記

広報の鈴木さんが体調をくずされたので、ピンチヒッターです。編集委員会のご協力で何とか発行にこぎつけました。(岩瀬)

- 集員 岩瀬昭二・氏家総子・後藤政也・佐野史瑞子・白井俊一・鈴木 稔・野中建吾・森川淳子 (五十音順)
- 編委